

1人1台タブレット端末の活用により 事実に戻り、問題を解決する学習

第6学年

生物と環境

こんな子どもたちの姿が生まれました！

- 観察における事実を、学級の仲間と共有することができました。
- 観察における事実に戻り、問題を解決することができました。

タブレット端末の活用による効果



自分が発見した微生物を撮影して保存しておく、考察のときに何度も確認できるので、とても便利です。

**撮影・保存機能を用いることで
事実に戻り、問題を解決することができるようになる。**

- ・観察した微生物をタブレット端末で撮影して保存する。
- ・観察や考察の際に、自分が観察した複数の微生物を確認して、問題を解決する。



インターネットは、自分が観察した生物と同じような姿の生物を見つけることができます。自分が観察した生物の名前が分かるので、調べて楽しいです。

**インターネット検索機能を用いることで
科学的な追究に深まりをもたせる。**

- ・インターネット検索機能を用いて、観察した生物を同定する。

教師の指導のポイント

- 「どんな生物を観察できましたか。」などと問いかけることで、児童が観察した事実に戻り問題を解決できるようにする。

協働学習支援ツールの活用による効果



**協働学習支援ツールを用いることで
事実を仲間と共有できるようにする。**

- ・協働学習支援ツール（SkyMenu）を使って、観察した微生物を電子黒板に映し出す。
- ・大きさの異なる様々な種類の微生物が生息していることを把握する。

教師の指導のポイント

- 電子黒板に映し出された画像から児童の学習状況を把握する。観察ができていない児童には、顕微鏡などの観察器具を適切に操作できるように指導する。